

I 鳥取県の森林と林業の概況

鳥取県の林業の位置（全国対比）

項	目	単 位	全 国 (A)	鳥 取 県 (B)	比率(%) (B)/(A)×100	順 位	年 度	資 料 名	
林野面積 及び蓄積	土 地 面 積	1,000ha	37,796	351	0.9	41	24年	国土交通省国土地理院	
	林 野	面 積	1,000ha	24,845	259	1.0	33	平成22年度(確定値) 県内値23年度	2010年農林業センサス結果報告書 並びに森林・林業振興局調べ
		林 野 率	%	65.7	73.9	—	13	〃	
	森 林	総 面 積	1,000ha	24,351	256	1.1	33	〃	
		民有林面積	1,000ha	17,361	227	1.3	32	〃	
	民 有 人 工 林	面 積	1,000ha	7,983	123	1.5	—	全国値19年度 県内値23年度	林野庁計画課「森林資源の現況」 並びに森林・林業振興局調べ
			人工林率	%	45.8	54.4	—	—	
		民有林 蓄積	総蓄積	1000m ³	3,353,465	48,798	1.5	—	
1ha当たり蓄積			m ³	193	216	—	—	〃	
造 林	民有林造林面積	ha	16,340	119	0.7	24	22年度	森林・林業統計要覧(2012)	
	民営造林用苗木生産量	1,000本	63,214	482	0.8	—	22年度	林業種苗の概要(H24.11月)	
林産物 の生産	素材	需要量	1,000m ³	24,570	530	2.2	—	23年	平成23年木材統計並びに 森林・林業振興局調べ
		国産材	1,000m ³	18,290	219	1.2	—	〃	
	しいたけ	生	t	66,673	220	0.33	42	23年	平成23年特用林産物需給表
		乾	t	3,624	23	0.63	15	〃	

項 目		単 位	全 国 (A)	鳥 取 県 (B)	比率(%) (B)/(A)×100	順 位	年 度	資 料 名	
木 材	製 材	工 場 数 (7.5kw以上)	工場	6,175	50	0.8	41	23年	平成23年木材統計
		生産量	1,000m ³	9,434	32	0.3	41	〃	
	木材 チップ	工 場 数	工場	1,545	11	0.7	38	〃	
		生 産 量	1,000t	5,638	30	0.5	36	〃	
民有林林道 (自動車道)	民有林既設林道密度		km	5.5	4.7	—	—	23年度	森林・林業統計要覧(2012)
	民有林林道開設実績		km	337	4.6	1.4	29	23年度	森林・林業統計要覧(2012)
林業機械	高性能林業機械保有台数		台	5,089	49	1.0	35	23年度	平成23年度林業機械保有状況調査
林業経営及 び労働	林家数	総 数	戸	906,805	12,778	1.4	33	平成22年度 (確定値)	2010年世界農林業センサス
		内5ha未満林家	戸	680,686	9,792	1.4	33	〃	
森林組合	組 合 数		組合	690	8	1.2	37	21年度	森林・林業統計要覧(2012)
	1組合 当たり	組合員数	人	2,281	2,283	—	21	21年度	
		払込済出資金	1,000円	76,768	101,119	—	14	21年度	
	生 産 森 林 組 合 数		組合	3,224	96	3.0	15	21年度	
林業金融	公庫資金貸付決定実績		100万円	8,413	50	0.6	39	22年度	森林・林業統計要覧(2012)
	(独)農林漁業信用基金債務保証 額		100万円	53,150	567	1.1	27	22年度	
治山 保安林	民有保安林面積		1,000ha	5,127	108	2.1	15	22年度	森林・林業統計要覧(2012)
	民有林治山事業の実績		100万円	61,494	884	1.4	40	22年度	

森林保護	林野火災	損害てん補面積	ha	-	0.00	-	-	23年度	森林・林業振興局調べ ※全国については、平成23年のデータは公表されていない。
		損害てん補額	1,000円	-	0	-	-	〃	
	気象災	損害てん補面積	ha	-	19.55	-	-	〃	
		損害てん補額	1,000円	-	3,348	-	-	〃	
	松くい虫被害（民有林）	1,000m ³	551.4	16.1	2.9	11	22年度	森林・林業統計要覧（2012）	

参考

鳥取県民有林、国有林別主要指評

項 目	単位	計	民有林	国有林	年度	資 料 名
林 野 面 積	1,000ha	259	227	32	23年度	森林・林業振興局調べ
森 林 面 積（a）	1,000ha	258	227	31		
人 工 林 面 積	1,000ha	140	123	17		
蓄 積（b）	1,000m ³	53,870	48,798	5,072		
1haあたり蓄積（b/a）	m ³	209	215	164	23年次	
素 材 生 産 量	1,000m ³	198	190	8		
林 道 延 長	km	1,260	1,062	198		
保 安 林 面 積	1,000ha	138	108	30	23年度末	

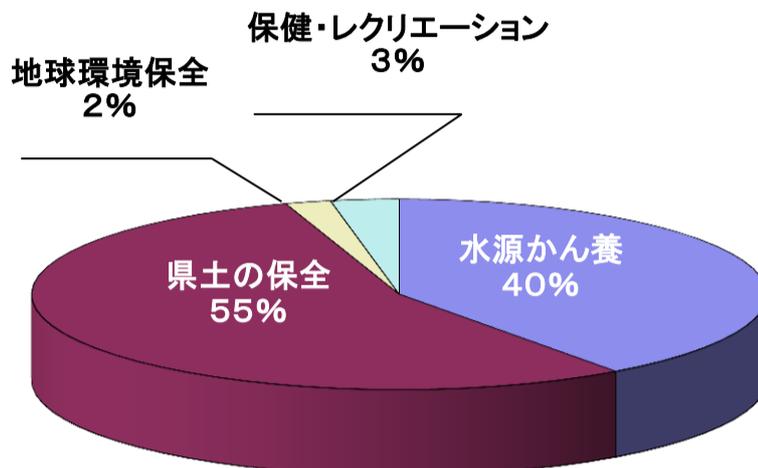
鳥取県の森林と林業の概要

1 概 要

本県の森林は、県土の約73%に当たる256千haを占めている。これらの森林は木材等の生産だけでなく、県土の保全、水資源の涵養、地球温暖化防止等といった多様な機能を有し、県民の生活に重要な役割を果たしている。これら森林の公益的機能の価値は、貨幣評価可能なものだけでも、全国で70兆2,638億円、鳥取県では、8,227億円と評価されている。

鳥取県の森林評価額

機能の種類	評価額	
●水源かん養	降水の貯留	1,137億円
	洪水の防止	686億円
	水質の浄化	1,485億円
	計	3,308億円
●県土の保全	表面侵食防止	3,689億円
	表面崩壊防止	866億円
	計	4,555億円
●地球環境保全	二酸化炭素吸収	127億円
	化石燃料代替	11億円
	計	138億円
●保健・レクリエーション		226億円
合 計		8,227億円



(注) 日本学術会議答申「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価について」(平成13年11月)を参考として鳥取県分を試算したもの。

一方、本県では、戦後の拡大造林期に植栽された人工林資源が利用可能な段階を迎えつつあるものの、路網整備の遅れや所有形態が小規模・分散化していることから生産性が低く、また、木材価格の低迷等による森林所有者の林業への関心の低下により、間伐等の十分な手入れが行き届かない森林が顕在化している。

このため、本県の林業・木材産業が成長産業として飛躍することを目指すとともに、これらの産業の再生を通じて森林の適切な整備・保全を促進することとし、①施業の集約化や路網・機械整備によるコストの削減と利用間伐により森林所有者に利益を還元する低コスト林業の推進、②森林作りを支える担い手や低コスト林業推進の中核的存在となる林業事業体の育成・強化③直送による流通コストの削減や品質の確かな製品の供給等の推進、④とっとり共生の森や森林環境保全税、J-VER、全国植樹祭(平成25年開催)に向けた県民運動を通じた森林づくりに対する県民意識の醸成に取り組むこととしている。

水土保全林 83% (機能) 県土の保全、水源かん養機能を発揮する森林	森林と人との共生林 3% (機能) 森林環境教育、保健休養など、森林空間の利用や生態系を保全する森林	資源の循環利用林 14% (機能) 効率的で持続可能な木材生産を行う森林
--	---	---

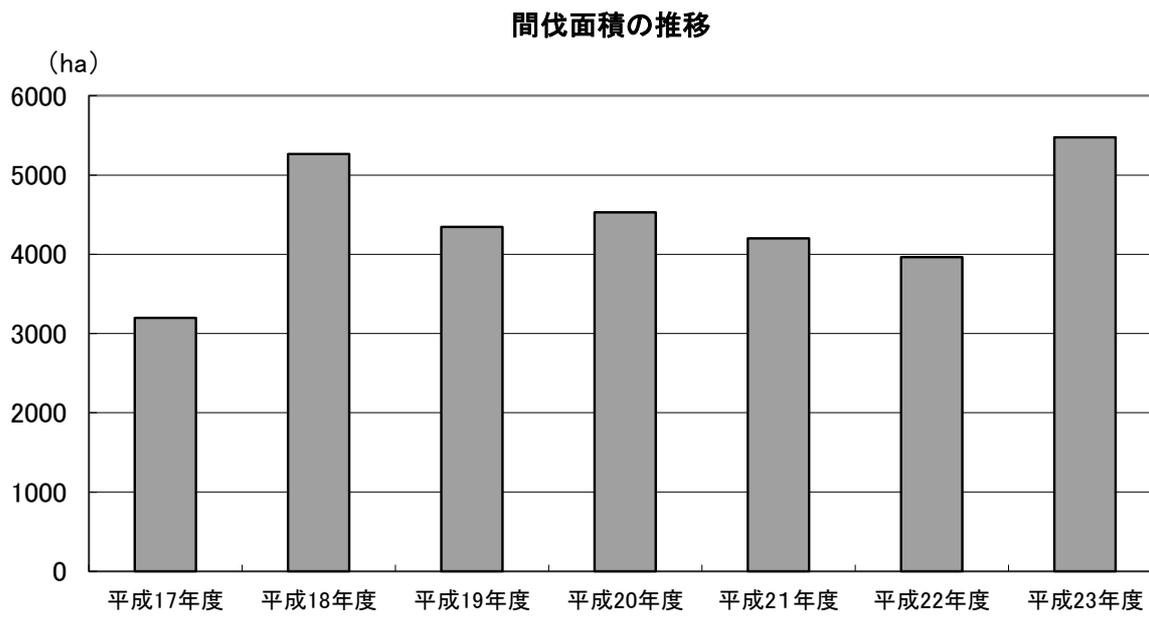
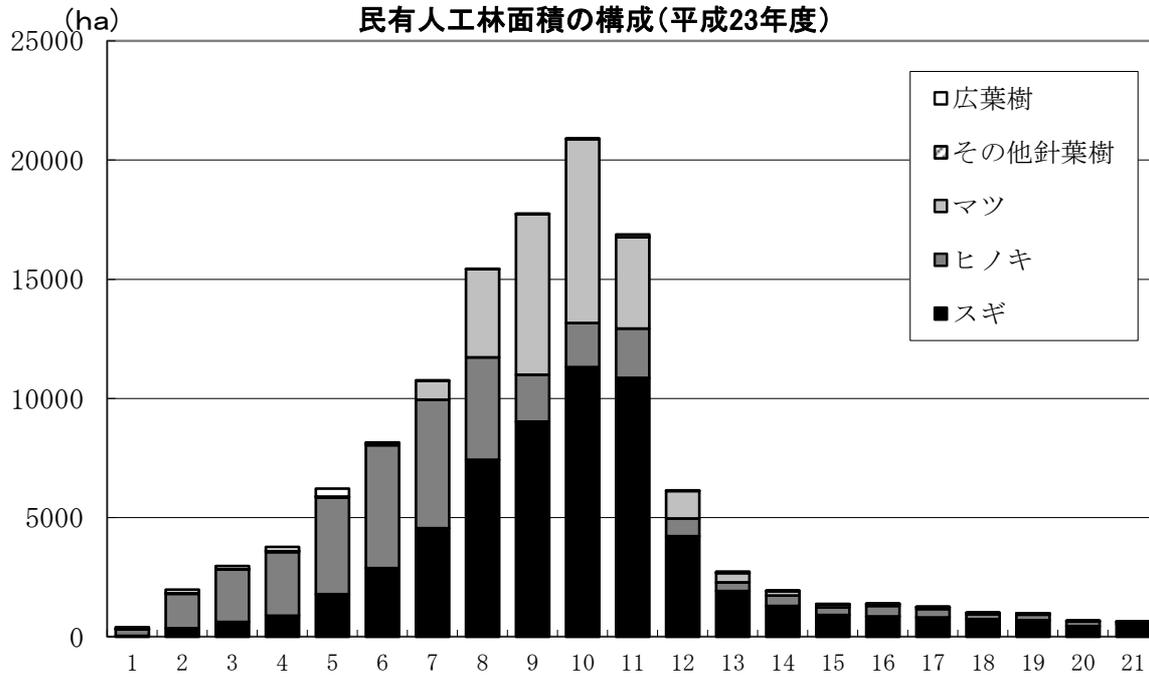
【参 考】

総土地面積	林野面積	現況森林面積			林野率	民有林人工林率	総人口	総世帯数	林家数	林家以外の事業体数	
		国有林	民有林	計						戸	森林組合数
ha	ha	ha	ha	ha	%	%	千人	戸	戸	戸	
350,728	259,315	31,960	227,355	259,315	73.9	54.4	589	211,964	2,344	2,684	8

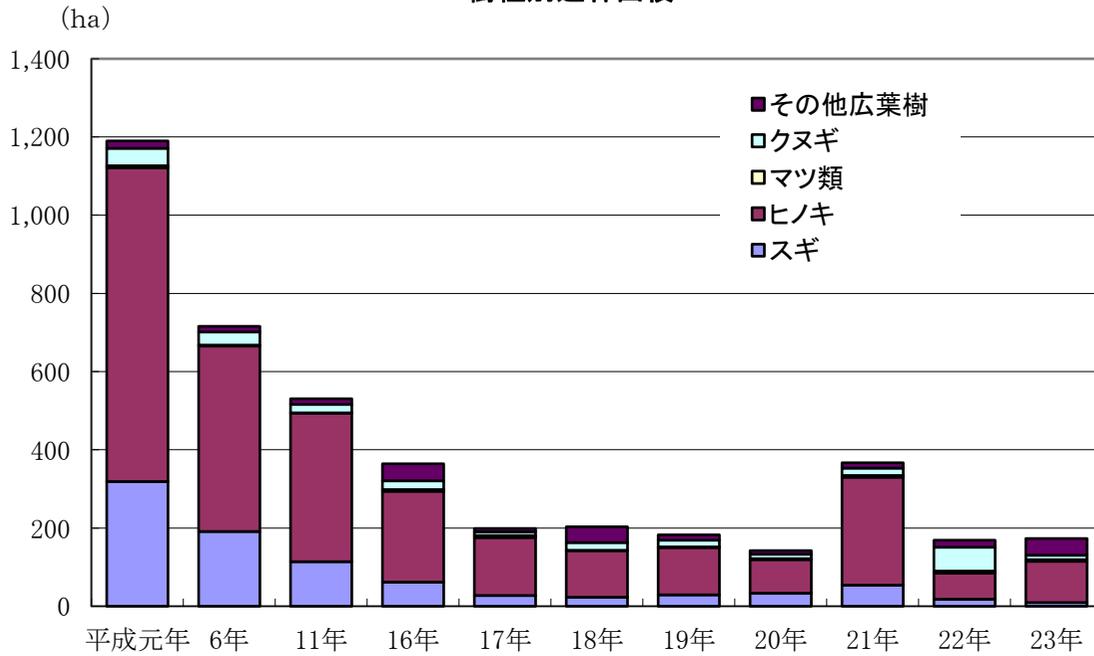
(注) 各数値は、本書林業統計及び2010農林業センサス、平成22年国勢調査より取りまとめたものである。

2 造 林

- ・県内の民有林は、約54%が人工林で、そのうち68%が9齢級以下の手入れが必要な森林である。このうち平成23年度に間伐が実施された森林は5,476haである。
- ・造林面積は平成23年度は173haであった。

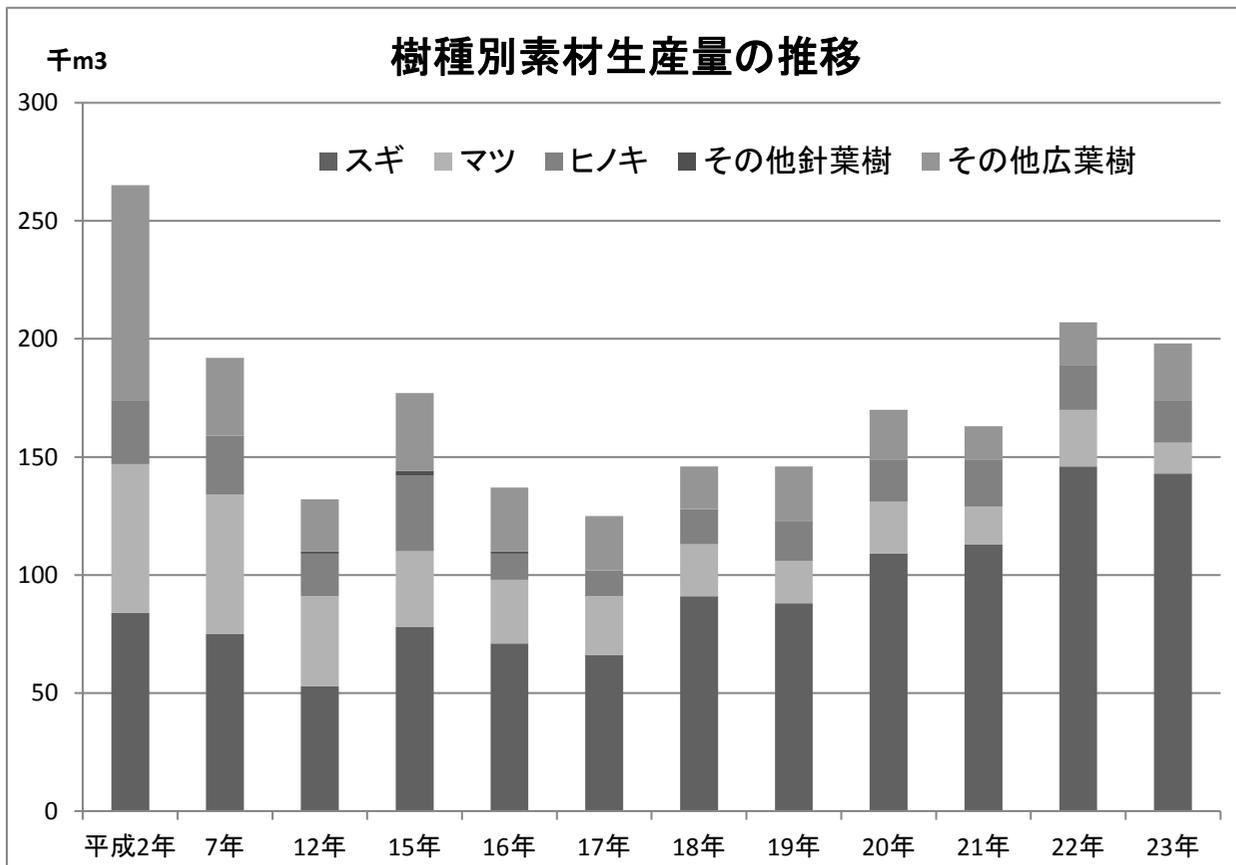


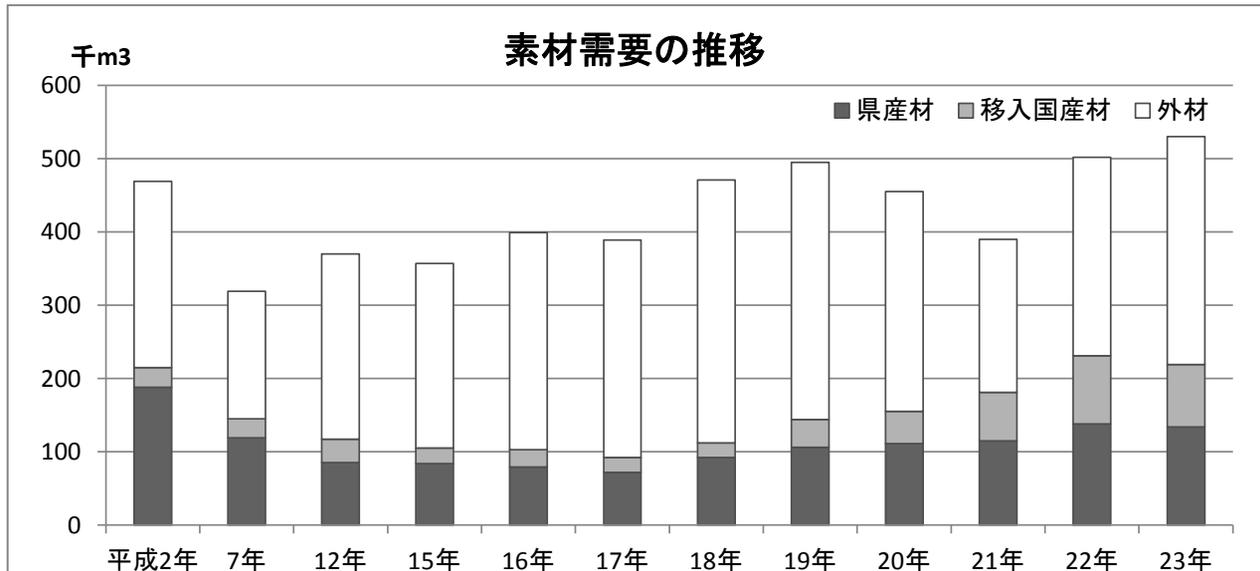
樹種別造林面積



3 林産物(素材)

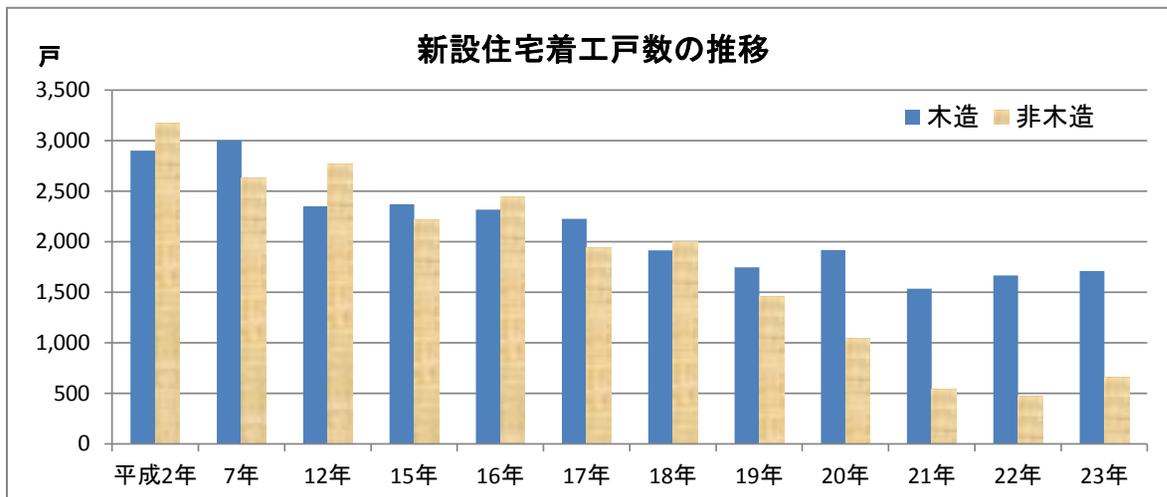
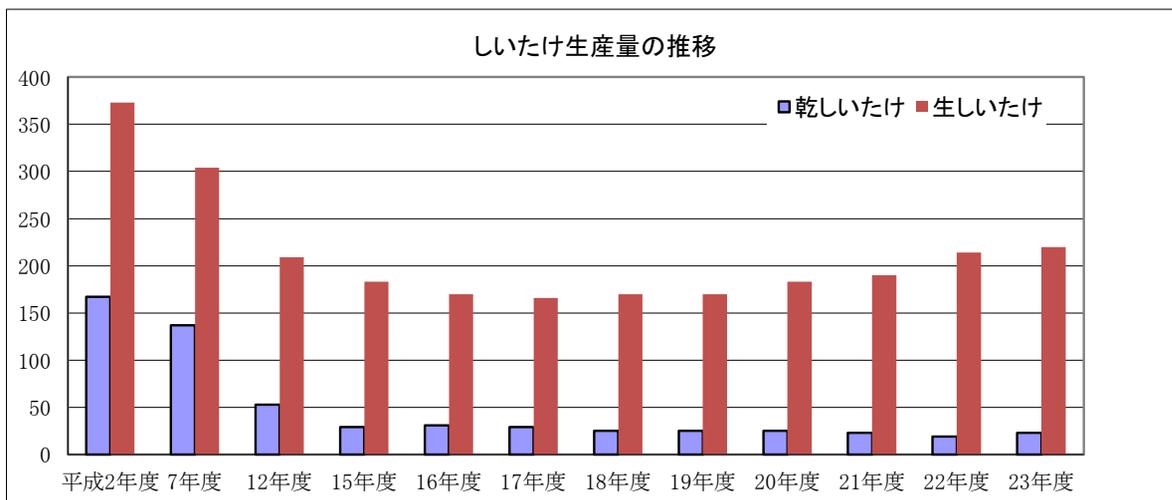
・素材生産量は前年と比較して若干減少したものの、合板、LVL等の需要増もあって近年では高い水準を維持している。





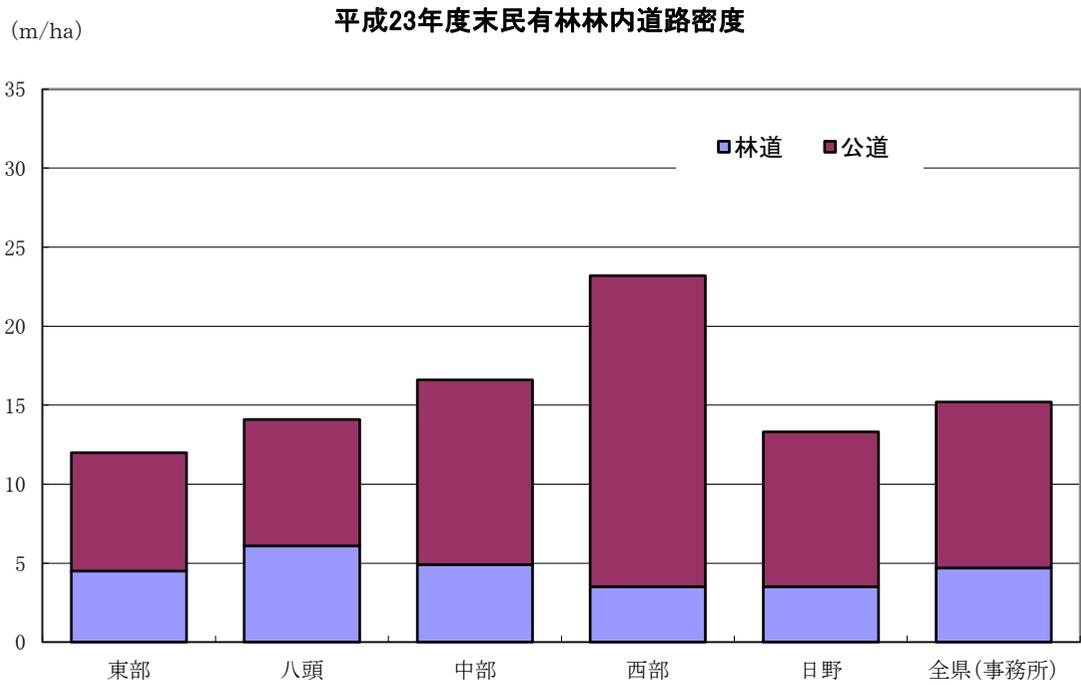
(その他)

- ・しいたけ生産量は、平成10年度以降減少傾向であったが、平成23年度の生産量は、乾しいたけ23t、生しいたけ220tとなり、生しいたけの生産量が徐々に増えてきている。
- ・平成23年の新設住宅着工戸数2,367戸のうち、72%が木造である。



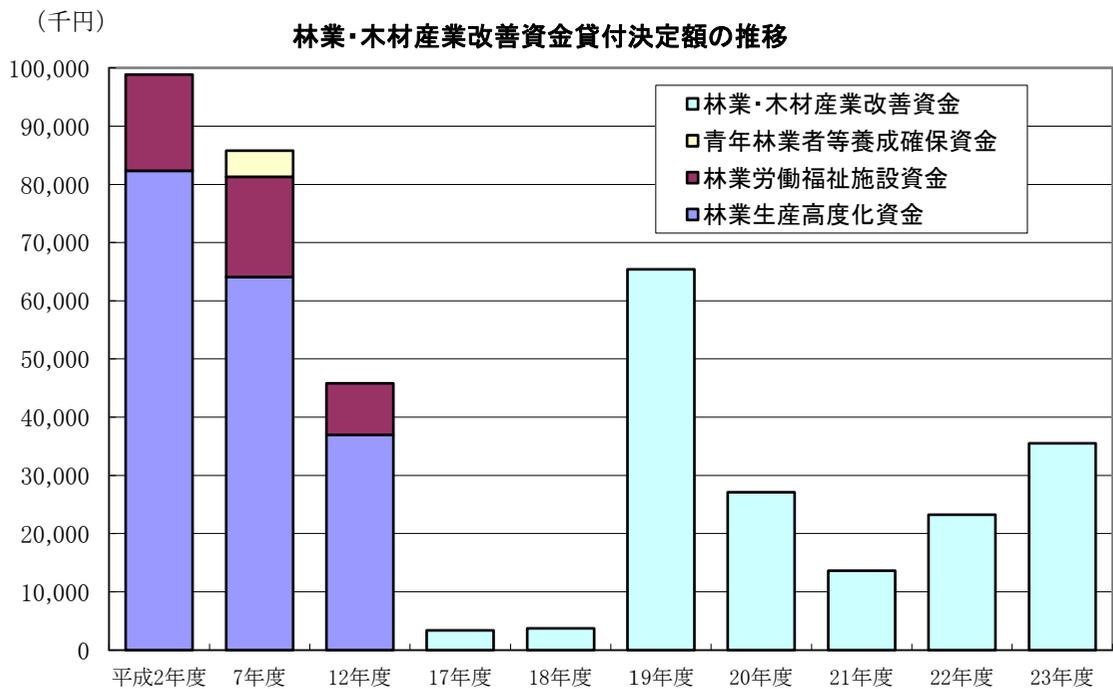
4 林 道

・民有林の林内道路密度は、全県で15.2m/ha、うち、林道密度は4.7m/haである。



5 林業金融

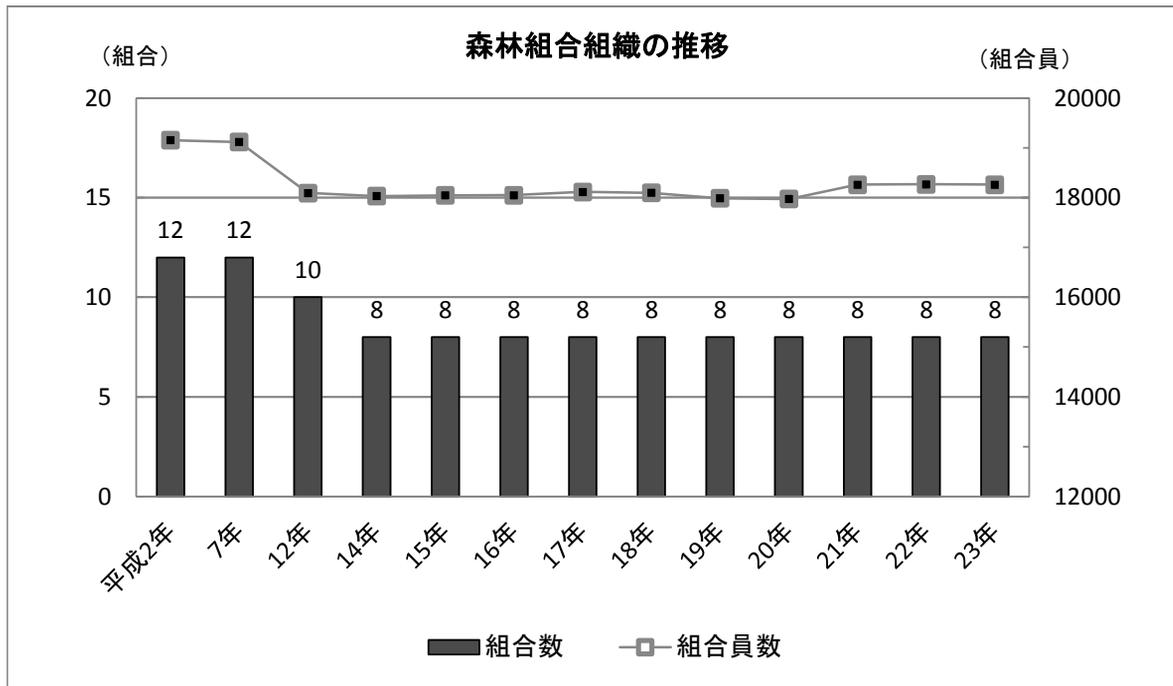
・平成23年度の林業・木材産業改善資金の貸付実績は35,540千円である。



(注) 15年7月から、資金の種類が「林業・木材産業改善資金」に統一された。

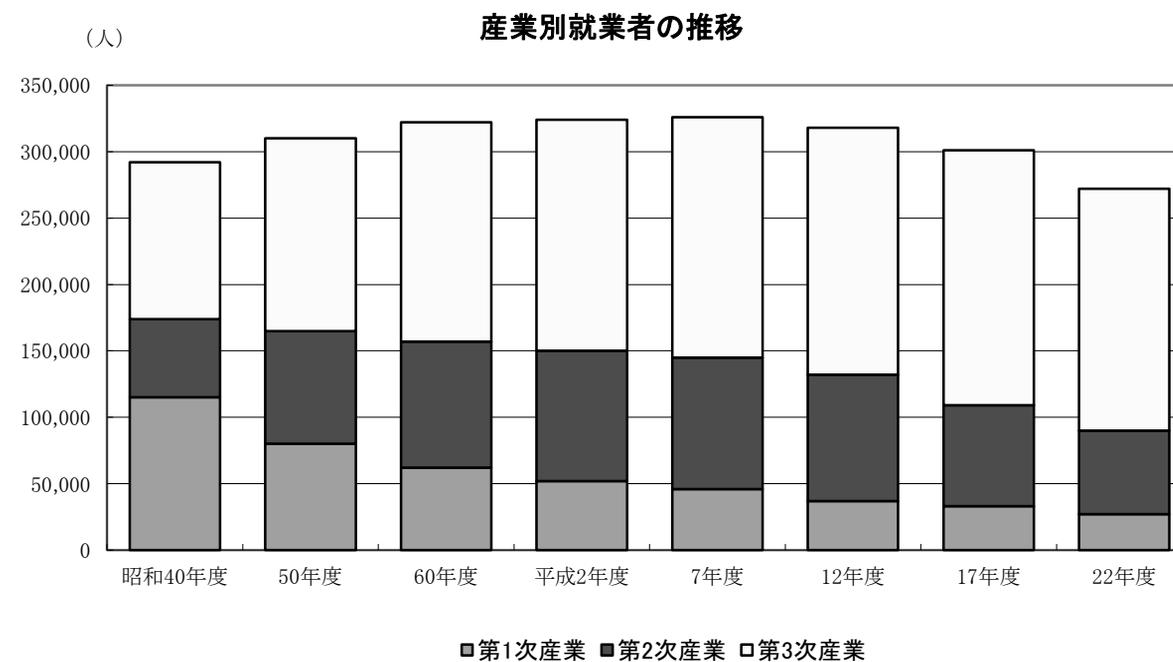
6 森林組合

・平成23年度の森林組合数は8組合、組合員数(正・准とも)は18,259人である。



7 林業労働

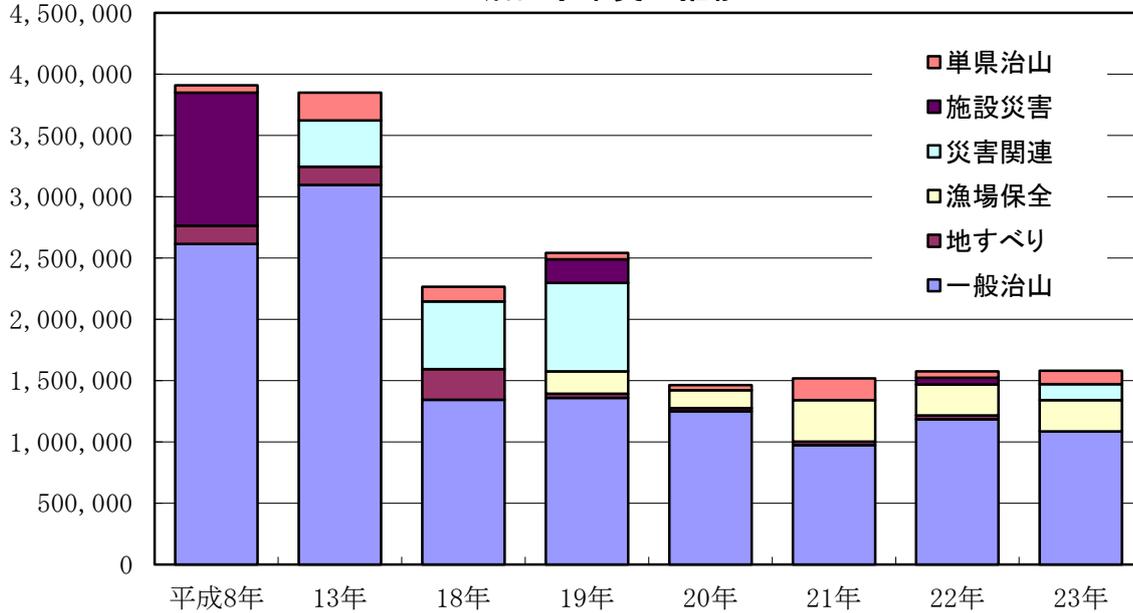
・平成22年度産業別の就業者数は、第1次産業27千人、第2次産業63千人、第3次産業182千人。
そのうち、林業・狩猟業が占める割合は、全体の0.3%。



8 治 山

・平成23年度の治山事業費は、災害関連などあり1,579,165千円であった。

治山事業費の推移



9 森林病害虫

・平成23年度のマツ林面積は、33,548haで、そのうち12,769haが松くい虫の被害を受けている。マツ林の被害の拡大を防止するため、伐倒駆除や薬剤散布を実施している。

松くい虫被害の推移

